
開講科目名：知的財産法研究（A）（2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：瀧 麻依子

《授業の概要》

2019年度、本講義は犬山キャンパスで開講される。

《講義の概要》

前期（A）はアメリカの連邦最高裁判決を扱う。アメリカの知的財産法を学ぶ上で必須の代表的な判決のほか、最新の判決についても取り上げる予定である。

《講義の進め方》

すべての受講者は、指定する最高裁判決を精読し、レジュメを作成して毎回報告を行うことが求められる。その際に、指定された判決だけではなく、アメリカ知的財産法の制度、下級審判決や学説の状況について各自調査し、あわせて検討して行くことが必要である。

《テキスト》

* 田中英夫『英米法辞典』（東京大学出版会、1991年）

* 連邦最高裁の判決は、公式ウェブサイトのほか、本学図書館で契約しているデータベースWestlawから入手することができる。また、関連する判決やローレビューの論文等もWestlawにおいて入手可能である。

* レジュメ作成の際には、いわゆるブルーブック（Harvard Law Review Association, The Bluebook : A Uniform System of Citation, 20th ed., 2015.）を参照し、その用法に従う。適切な引用の方法を身につけることは、修士論文作成のためにも不可欠である。

《参考書》

* Peter S. Menell et al., Intellectual Property in the New Technological Age 2018: Vol. I Perspectives Trade Secrets and Patents, Clause 8 Publishing.

* Peter S. Menell et al., Intellectual Property in the New Technological Age 2018: Vol. II Copyrights Trademarks and State IP Protections, Clause 8 Publishing.

* 田中英夫『英米法総論(上)(下)』（東京大学出版会、1980年）

* 田中英夫ほか『外国法の調べ方—法令集・判例集を中心に』（東京大学出版会、1975年）